

ただ目を見つめて

太田紗希

ただ目を見つめて

頷いてほしただけ

あなたが瞬きすると心臓が潰れそうで

右眼から涙が出たとき

不揃いが私のからだを健やかに動かしていた

ベンサム、今度は愛について教えて

ただ目を見つめて

同じこと繰り返してほしただけ

季語にもならないものたちを見て

私はきつと若さの真っ只中にいるのだと思った

らが抜かれているかどうかは

嫌いな奴が昨日食べたものと同じくらい心底どうでもいいんだ

ただ目を見つめて

小指束ねてほしただけ

昔より痩せた母の肋骨は

フリルみたいで美しかったの

改宗した人々はみんな涙を流していた

やっぱり愛って難しかった

ただ目を見つめて

笑ってほしただけ

思い出だけで生きていけるようになるまで

もう少し一緒にいさせてね

だから私こうして

ただ目を見つめる